

～心肺蘇生法～

- 1 意識の確認
↓ 意識がなければ
- 2 救急車を呼ぶ
↓
- 3 気道の確保
↓ 呼吸をしていなければ
- 4 人工呼吸
↓ 循環のサインがなければ(※注)
- 5 心臓マッサージ

以降、15回の心臓マッサージと2回の人工呼吸（成人の場合）を、救急隊が到着するまで繰り返します。

※ 循環のサイン

心臓の拍動がある場合に体が示す合図のこと。

①自発的な呼吸 ②咳き込み ③体の動き の3つのサインを確認します。



そこで、みなさんは救急車が来るまでの間、可能な限り応急手当てをしなくてはなりません。ここでは、応急手当てのうち、救命手当てである「心肺蘇生法」を左に紹介します。

心肺蘇生法を行っても循環のサイン(※)がない場合、そばに自動体外式除細動器(AED)があれば、さらにこれを用いて電気ショックを与えるます。



▲自動体外式除細動器(AED)

手当てには症状によってさまざまな方法があり、早期の応急手当てが病気の悪化を防ぎ、回復を早めます。このためにも、ぜひ救命講習会を受講して、応急手当てを覚えておきましょう。

図2 市内救急搬送者の状況(平成15年中)

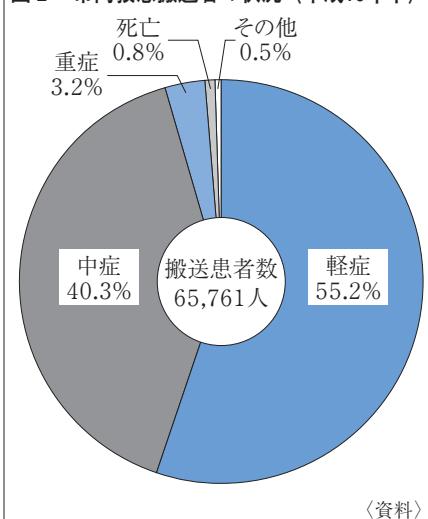
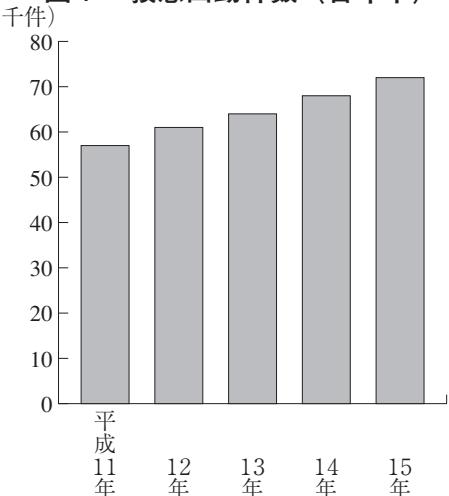


図1 救急出動件数(各年中)



救急車を呼ぶほどでもない! でも心配というときは...

～夜間・休日の救急医療機関の確認を～

○ 北海道救急医療情報案内センター(24時間)

フリーダイヤル：0120-20-8699

携帯・PHS：011-221-8699

URL：<http://www.qq.pref.hokkaido.jp/>

○ 札幌市消防局災害救急病院案内(24時間)

☎：011-201-0099

URL：<http://www.city.sapporo.jp/shobo/>

○ 新聞朝刊にも掲載されます

※ 急病の場合は

夜間急病センター(午後7時～翌朝午前7時)

中央区大通西19丁目 ☎011-641-4316



▲消防局パンフレット
「とっさのときの救急ガイド」

救急出動の現状 ～私たちにできること～

現在、手稻区内では2台の救急車が配備されています。しかし、119番通報による救急出動は年々増えており、図1のとおり、この4年間に全市で約1万5千件増加しています。それに伴い、通報が重なり搬送までに時間を要する場合があります。図2からも分かるように、救急搬送者の半数以上は軽症です。緊急性が

止した人など、緊急に搬送する必要がある人への救急車の到着を遅らせることになります。また最近は、夜間にどこで119番通報する人も増えています。病院に行けばいいのかといふことで119番通報する人も増えているようです。夜間診療を行なう当番病院などは、可能なもの限り、ご自身で確認ください。

札幌市消防局では、みなさんに応急手当てを身につけていただくため、パンフレットの配布とともに、救命講習会を実施しています。家庭や地域の皆さんで救命講習を受けたみませんか。詳しくは手稻消防署(☎(68)2100)までお問い合わせください。